

2020年度（2021年3月卒業生） 新卒視能訓練士就業状況調査 調査結果

調査目的：今後ますます増加する視能訓練士の就業状況を把握する。

対 象：2020年4月現在日本国内に存在し2021年3月に卒業生を輩出した視能訓練士養成施設27校（大学9校・短期大学1校・専門学校17校）に対しアンケート調査を依頼。対象者数は国家試験合格者の762名（前年801名）。

施設区分	養成校区分 就職先区分	性別		大学 9校			短期大学 1校			専門学校 16校			合計 26校				前年26校 との比較		区分 比率	前年度 比
		女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	合計	女性	男性	人数	比率%	増減 数	比率%				
国公立系 医療機関	1. 国立高度専門医療センター (ナショナルセンター)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1%	1	0.1%	9.6%	▲ 3.3%			
	2. 国立大学法人	11	5	16	0	0	0	9	2	11	20	7	27	3.6%	27			▲ 1.6%		
	3. 独立行政法人国立病院機構	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	2	0.3%	2			▲ 0.3%		
	4. 公立医療機関 (都道府県市町村の病院及 び診療所)	9	0	9	2	0	2	6	1	7	17	1	18	2.4%	18			▲ 1.7%		
	5. その他国立系の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0			0.0%		
	6. 公立大学病院	6	1	7	0	0	0	3	0	3	9	1	10	1.3%	10			0.2%		
	7. 公立に準ずる病院及び診 療所	6	4	10	2	0	2	2	0	2	10	4	14	1.9%	14			0.1%		
	①小計	34	10	44	4	0	4	21	3	24	59	13	72		72					
全体に占める割合	5.6%			0.5%			3.1%			7.5%	1.7%		9.6%		▲ 3.3%					
私立系 医療機関	8. 私立大学病院	22	6	28	0	0	0	7	3	10	29	9	38	5.1%	38	▲ 1.9%	84.3%	0.3%		
	9. 私立病院 (他科もある病院の眼科)	18	6	24	1	2	3	28	5	33	47	13	60	8.0%	60	▲ 2.0%				
	10. 私立眼科病院	31	1	32	0	0	0	6	1	7	37	2	39	5.2%	39	▲ 1.1%				
	11. 眼科診療所 (医療法人及び個人)	146	17	163	14	1	15	279	34	313	439	52	491	65.5%	491	6.3%				
	12. レーシックセンター (レーシックを主にしてい る眼科診療所)	2	1	3	0	0	0	1	0	1	3	1	4	0.5%	4	1.0%				
	②小計	219	31	250	15	3	18	321	43	364	555	77	632		632					
	全体に占める割合	33.3%			2.4%			48.5%			74.0%	10.3%		84.3%		0.3%				
そ の 他	13. 視能訓練士の学校または 養成所	2	0	2	0	0	0	1	0	1	3	0	3	0.4%	3	0.1%	6.1%	3.0%		
	14. 大学院	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0.4%	3	0.3%				
	15. 福祉関係	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1%	1	0.0%				
	16. 病院・医院以外の医療関 係企業	0	1	1	0	0	0	2	1	3	2	2	4	0.5%	4	▲ 0.3%				
	17. 医療関係以外の職業	8	3	11	0	0	0	1	3	4	9	6	15	2.0%	15	1.6%				
	18. 就職せず	10	3	13	0	0	0	6	0	6	16	3	19	2.5%	19	1.1%				
	19. 他大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%				
	20. 他専門学校	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0.1%	1	0.1%				
	③小計	22	9	31	0	0	0	11	4	15	33	13	46		46					
	全体に占める割合	4.1%			0.0%			2.0%			4.4%	1.7%		6.1%		3.0%				
合計 (①+②+③)	275	50	325	19	3	22	353	50	403	647	103	750	100.0%	750						

小数点第2位四捨五入
2021年10月現在
視能訓練士需給計画委員会実施

アンケート調査に対して回答があった養成校数は、大学はすべての9校、短期大学は1校、専門学校は前年より1校減の16校、合計では昨年度と同数の26校（アンケート回収率96.3%）から回答を得ました。

回答が得られた養成校の全学生数は、女性は前年より31名増の647名（86.3%）、男性は8名減の103名（13.7%）の計750名でした（昨年結果より19名増）。

大学からの回答は1校増で人数は23名増でした。専門学校は回答が昨年より1校減であったにもかかわらず、人数は5名増でした。前年と同様に専門学校の卒業生数が増加した結果となりました。

今回の調査結果について

1. 施設区分

施設区分では、「国公立系医療機関」の全体に占める割合は2018年、2019年と2年連続増加していましたが、今回の調査結果では前年比3.3ポイント減の9.6%でした。反対に「私立系医療機関」の全体に占める割合は2018年、2019年と2年連続減少していましたが、今回の結果は前年比0.3ポイント増の84.3%、「その他」の全体に占める割合も前年比3.0ポイント増の6.1%でした。今回の結果は直近2年の動向から以前の状態に近い結果となりました。

2. 就職先区分

施設区分では、「私立系医療機関」の「眼科診療所」のみが6.3%増と大きく増加していましたが、それ以外の「国公立系医療機関」、「私立系医療機関」とも多くの施設区分で軒並み減少していました。「視能訓練士の学校または養成所」と「大学院」への進学は各3名でした。近年「就職せず」は減少していましたが、今回の結果では「医療関係以外の職業」と「就職せず」が増えていました。

3. まとめ

2018年、2019年と国公立系医療機関が増加、私立系医療機関とその他は減少の傾向が続いていましたが、今回の調査結果は「眼科診療所」が大幅に増加し、その他の医療機関は軒並み減少していました。また、医療機関への就職がここ数年と比べて少ない結果となりました。

高校生の減少が年々進んでいくことが危惧されている現在、新卒者を安定して輩出するためには入学者数を確保していくことが必要となります。そのためにも会員の皆様には視能訓練士の知名度向上のためにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

今年卒業し、有資格者となられた皆さん国家試験合格おめでとうございます。需給計画委員会では今後も調査を続け、更なる視能訓練士の需要拡大を目指していきます。今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

視能訓練士需給計画委員会